

特集

授業にゲームを

教員よ、ゲームデザイナーたれ！ 藤川大祐

シミュレーションをゲームとして考える 太田浩子

HUG で考える災害現場と医療者としての対応

牧野典子

認知症予防ゲームづくりで学生が得られること

庄藤智恵美

i-PEG とビブリオバトルを用いた医療全体の理解

廣瀬清英

科学技術と社会をつなぐコミュニケーション型推理ゲーム

福山佑樹

【焦点】

大学入試改革と看護教育への影響・後編 濱名篤

【新連載】

看護に恋した哲学者と読む ベナーがわかる！腑に落ちる！・1

榊原哲也

【連載】

ティーチング・ポートフォリオ作成講座・2 栗田佳代子・吉田壘

N と E と LGBTQ・2 浅沼智也

つくって発見！ 美術解剖学の魅力・5 阿久津裕彦

授業を良くする！ 教育関連理論・7 西野毅朗

編集後記

●今号より「N と E と LGBTQ」という連載が始まりました。以前、看護学生と医学生ペアによる LGBT に関する連載がありましたが、今回は「Q」が入っているのがポイントで（何が Q なのかは本文ご参照）、性の多様性がより広がったことを示しています。●「多様性」という言葉は現代社会のキーワードですが、これがいま強調されるのは、現実としてはむしろ多様性の否定に躍起になる勢力が台頭しているからかもしれません。看護師は「患者の個別性」を重視します。これは、取りも直さず「人間の多様性の尊重」ではないでしょうか。その否定に与することがないよう、本連載から多様性理解の情報を得て、教育現場で活かしていただければ幸いです。●ちなみに、本文中の「性的指向」と「性自認」を考えるには、2 月に公開された映画「アバウト・レイ」16 歳の決断」がお勧めです。……大野

●記事や取材先などで、看護師は問題解決志向だから……というお声を本当にたくさん伺ってきました。それがあまりに頻繁で、不思議だなあと感じたところから、今回の特集になりました。企画からご執筆、インタビュー、対談をお願いしている間、自分としては、問題解決志向ではない発想の方々を、島々を渡る鳥のようにグルリと移動している気分になっていましたが、いざ、いただいてきたお原稿やお言葉をみていくと、渡り鳥とは私の勘違いで、みなさん共通して、医療者对患者、教員对学生という、これまで上下で語られてきた、そもその関係性に共通した問いを出されていることに気づきました。雑誌を編集していて楽しいな、と思える瞬間でした。……番匠

◎編集室ツイッター

<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第 59 巻 第 4 号 2018 年 4 月 25 日発行(毎月 1 回 25 日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan

(1 部) 定価：本体 1,500 円＋税

2018 年・年間購読料(増大号を含む 12 冊)：冊子版 15,540 円、冊子＋電子版／個人 18,540 円、電子版／個人 15,540 円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 俊 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 〓出版者著作権管理機構 委託出版物〓

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/18/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは、1 論文 1 回複製につき紙は 500 円、電子版は 750 円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY 宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.59 No.3

2018 年 3 月
特集

私たちのストレスケア

学校現場は、今更ながら「ブラック職場」であるといわれ始めているように、教員はストレッサーが多い職業です。看護師も一時期は「3K、4K」などといわれ、ストレスが多いことは知られています。どちらの職業も、ミッション遂行にきわめてまじめに取り組み、かついまだ減私奉公的な考えをもつ人が少なくないことから、ストレスが原因でメンタルヘルスを害してしまうケースは珍しくありません。そんな「教員」と「看護師」双方の面をもつ「看護教員」がストレスケアが必要になる機会が多いのは、当然といえます。ストレスの多い教員、看護師のストレスケアについての調査・研究は多く、さまざまな場で発表もされてきました。しかし、看護教員のストレスケアについては、なぜかほとんど取り上げられてきていません。つまりは、ケア自体は本人任せであったといえるでしょう。自主的な対応はもちろん大事ですが、ストレスケアには、組織的な対応が必ず求められます。今回の特集は、看護教員が抱えるストレス源をあらためて浮き彫りにし、ストレスケアの仕方を、個人にできることと組織で行うべきことの双方から提案しようというものです。

自分自身および学校や大学の仲間のメンタルを守るためにも、1人ひとりができることから始め、周りにはたらきかけてみてくだ

- 職業的アイデンティティと職業性ストレス——看護教員のメンタルヘルス対策に向けて……………福永ひとみ
- 「ストレス自慢」をやめて「ストレスフリーの場」をつくりませんか——教育職場のストレス構造とその軽減方法に関する考察……………筒井美紀
- さまざまな形で教員へのメンタルサポート……………棕田容世
- ストレスはつきもの——自らの限界を知り、載せ過ぎた「荷物」をおろそう……………宮子あずさ
- 研究教育機関におけるアカデミック・ハラスメントを考える——学びやすく、働きやすい教育現場をつくるために……………湯川やよい



Vol.59 No.2

2018 年 2 月
特集

VR で未来を変える

VR で未来を変える。大げさなタイトルと思われたかもしれませんが。VR 技術はますます発展を遂げていき、今や触覚もふくめた五感までも体験できるようになってきました。また VR を体験するためのデバイスも、高品質で比較的廉価なものが普及し始め、確実に VR へのハードルは下がってきています。VR 技術が今後発展していくことは疑いようがないでしょう。しかし、VR という看護教育にとって新たな技術で、単に新しいという理由で、未来を変える教育ツールとして、ご紹介しようとは考えていません。VR で「未来を変える」というタイトルには、開発者たちの、看護、ケア、そしてその教育で感じている問題点を、多職種で専門知を結集していきながら、看護教育を改善していくとするパワーを込めています。

そういう意味で、今回ご紹介する、日本で初めての看護教育用 VR が、認知症をテーマにしたものだったのは、必然だともいえます。認知症は、医療専門職だけでなく、介護や家族、社会全体で取り組んでいくもの。いわば、多職種の知が結集している場です。たとえ非看護職であっても、看護、看護教育に期待されている方が大勢いらっしゃる。そうした方々の声が、エールとなって皆様に届くことを祈念します。

そして本特集が、日々の看護教育に悩まれ、改善を試みられている方々に、楽しみながらイノベーションを起こすことのお誘いになれば何よりの喜びです。

- 教育における VR の活用を展望する……………廣瀬通孝
- VR × 看護教育 患者の立場に立てる教育方法をめざして……………山川みやえ／古谷和紀／内藤知佐子
- VR 体験とこれからのケアをつなぐ学習プログラムルーブリック評価、教員の活用方法とともに……………内藤知佐子／山川みやえ
- 【座談会】VR の可能性に託した、看護教育への信頼と展望……………下河原忠道／内藤知佐子／古谷和紀／堀田聰子／山川みやえ



[2018 年 1 月号 (Vol.59 No.1)]

インストラクショナル
デザインを活かす

[2017 年 10 月号 (Vol.58 No.10)]

実践的思考力を育む

[2017 年 12 月号 (Vol.58 No.12)]

省察の実践者を育む
シヨーンからの提起とともに

[2017 年 9 月号 (Vol.58 No.9)]

学生とつくる授業
学生がつくる授業

[2017 年 11 月号 (Vol.58 No.11)]

ティーチング・ポートフォリオ
で得られること

[2017 年 8 月号 (Vol.58 No.8)]

「読む、書く、話す」で、
教育力の充実を

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2016 年 2 月号 (Vol. 57, No. 2) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2016 年 3 月号 (Vol. 57, No. 3) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願ひします。